

道路事業事後評価

県土づくり本部

交通政策部

道路課

平成23年 2月

○事業概要

- 事業名 緊急地方道路整備事業
- 路線名 主要地方道 浜玉相知線(鏡工区)
- 所在地 唐津市鏡
- 工期 平成6年度～平成16年度
- 総事業費 27.8億円
- 事業内容 道路改築(バイパス整備)
L=1,800m

○整備前状況

車道が1車線と狭いうえに歩道も無く、円滑な交通に支障を来たし、歩行者が危険な状況

○道路整備状況

現在の基準に適応した車道幅員の確保及び歩道設置

○事業位置 ①



○背景と目的

- ・車道が1車線と狭く、円滑な通行に支障
- ・歩道が確保されていないため、特に朝夕の通学時に危険
- ・道路両側に家屋が建ち並ぶ

よって

- ・通行車両の円滑な走行確保
- ・自転車や歩行者の交通安全確保
- ・経済性を考慮

そのため

- ・バイパスの整備

○整備前(旧道)状況

路肩部を歩行し危険！



大型車も通行し円滑な走行に支障



○整備計画 (平面図)

新東唐津駅
土地区画
整理事業

至 福岡県



唐津東
中学校・高校

事業区間
L=1,800m

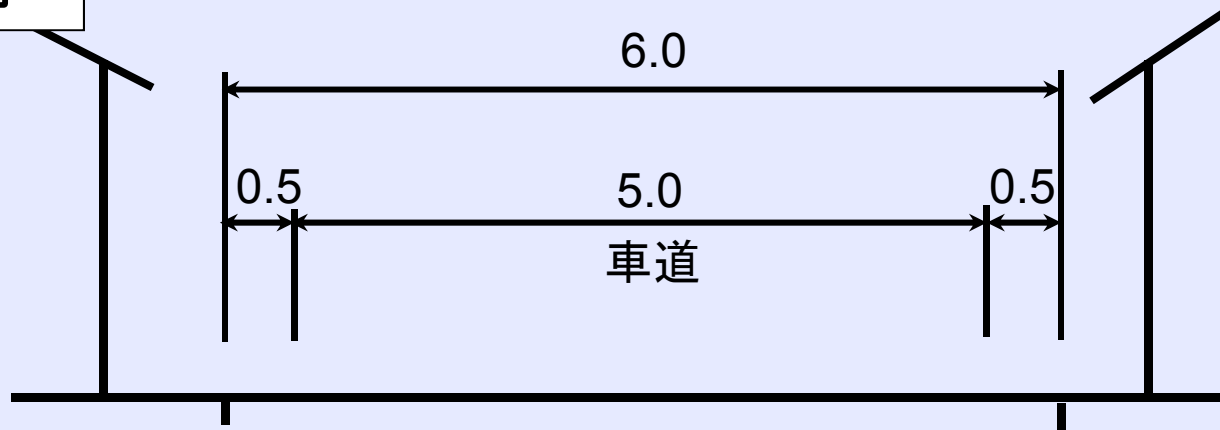
鏡中学校



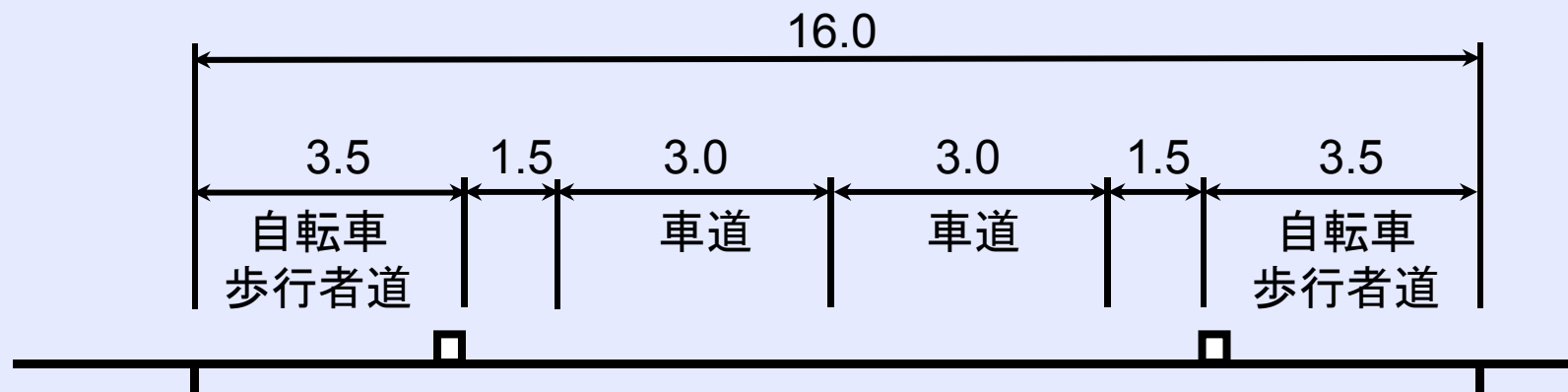
至 佐賀市

○整備計画(標準横断図)

整備前



整備後



○社会経済情勢の変化

○交通量の推移

- ・「旧道部」の日交通量が**27%減少**

13,322台／日(H11調査)

→ 9,698台／日(H17調査)

- ・「バイパス部」の日交通量

→ 4,288台／日(H17調査)

- ・「旧道部」の大型車交通量が、**57%減少**

1,398台／日(H11調査)

→ 604台／日(H17調査)

○社会経済情勢の変化



唐津東中学・高校



新東唐津駅土地区画整理



ディスカウントストア



○整備状況写真 ①

整備前



整備後



円滑な交通の確保

○整備状況写真 ②

安全に通学



自転車も
スイスイ



歩行者及び自転車の安全を確保

○維持管理状況

- ・県が管理する他の道路と同様の維持管理及び補修の実施

【県内道路の維持管理】

- 定期的な道路パトロール(2回/週)
- 街路樹の剪定(2回/年)
- 伐採(随時)
- 落下物の撤去
- 動物の死骸処理
- 局部損傷の修繕 等

○県民の意見

【メリット】

- スムーズな通行ができるようになった。
- バイパスに歩道が整備され、児童を含む歩行者や、中学高校生の自転車が、安心して通行できるようになった。
- バイパス整備されたことで、区画整理地区も含め、地域が活性化した。
- 旧道の交通量が減り、旧道への出入りが容易になった。

○県民の意見

【デメリット】

- バイパスを通行車両が、スピードを出すため危険を感じる。
- 旧道が福岡方面に向かう近道となっていることから、交通量はあまり変わらない感じがする。

○事業効果

○バイパス区間及び旧道の交通安全の確保

【旧道の事故件数の減少】

- ・完成年度前後4年間で事故件数が、**30%減少**

40件(H13~H16) → 28件(H17~H20)

○広域的な地域間の連携強化が期待

- ・西九州自動車道唐津インターや国道202号とのアクセス強化

○東唐津駅周辺のまちづくりの進展にも寄与

- ・土地区画整理事業で整備された街路とも接続しており、区画整理区域内における住宅の新築や唐津東中学校・高校の立地等

○今後の課題等

・用地交渉の難航や、他の関係機関との協議（国道や市道との取付協議など）の長期化などにより、事業期間が長期化

・旧道部からバイパス部への交通量の転換を図るため、他のソフト施策についても検討が必要

○課題を踏まえた改善点など

- ・採択段階の評価項目に地元の合意状況等
- ・土地収用法の制度活用を積極的に検討

事業効果の早期発現

- ・ソフト施策を組み合わせた取り組み

最小限のコストで課題を解決